

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	605 住宅政策事業					
予算科目	01-080502-11			担当部課	建設部住宅政策課	
市長公約				係名	住宅係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（任意）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	茨城県住生活基本計画、つくば市市営住宅長寿命化計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	住生活基本法、公営住宅法、つくば市市営住宅条例			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	「住生活基本計画（全国計画）」に基づき市民の住生活の質の向上や住宅セーフティネットの確保を図る。
概要 (取組内容)	住宅セーフティネットの拡大のため、市営住宅以外の選択肢として民間賃貸住宅の活用（情報提供）を促進する。 市内における住生活の質の向上を図るため、つくば市マンション連絡会への支援を行う。 市内の住宅ストックの居住環境の向上及び地域経済の活性化を図るため、住宅リフォーム補助金の交付を行う。 サービス付き高齢者向け住宅の、施設基準の審査及び検査

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	6,259	5,353	5,353	
	決算額	(千円)	105,909	144,935	5,638	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	7,297	29,810	3,216	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	98,612	115,125	2,422	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	10,787	10,273	4,122	4,220	4,220	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.50	1.50	0.60	0.60	0.60
		正職員時間外勤務	(時間)	81.00	39.80	17.00	57.00	57.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	ホームページ及び広報紙での情報発信（住宅リフォーム）
実行	マンション連絡会とのセミナーの共催
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	民間賃貸住宅情報提供件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	7.0	4.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	市内における安定した居住確保のため、市営住宅の待機者をはじめとした住宅確保要配慮者に対し、低額な民間賃貸住宅の情報を提供する。					

2	指標名	つくば市安心住宅リフォーム補助金の交付件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	58.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	住宅ストックの居住環境の改善の実績値として、補助金の交付が決定した件数。					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	特になし	
成果	住宅リフォーム助成事業について、申請に対し58件の助成金の交付を行った。 高齢福祉課と連携し、高齢者居住安定確保計画の改定を行った。 民間賃貸住宅及びセーフティネット登録住宅の情報提供を行った。	
課題	業務	住宅セーフティネットの拡大のため、セーフティネット登録住宅数の増加や、居住支援法人との連携が必要である。 マンション管理適正化法の改正に伴い、市の管理適正化計画の策定の検討が必要である。
	組織、予算等	住宅リフォーム助成事業について、住宅係内の人員不足を空き家対策係より補っている。 マンション管理適正化計画の策定及び計画の認定については、対応する組織の検討が必要である。
改善目標	住宅セーフティネットの拡大に向け、茨城県居住支援協議会と連携した検討を行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	4	市の関与の必要性が高い事業である。
優先度	3	市民ニーズや市民生活への影響等を鑑みて、継続して実施する必要がある。

方向性

方向性	継続	
理由	-	

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	606 市営住宅維持管理事業					
予算科目	01-080501-11			担当部課	建設部住宅政策課	
市長公約				係名	住宅係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	つくば市市営住宅長寿命化計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	公営住宅法、つくば市市営住宅条例			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市営住宅入居者
目的	市営住宅入居者の良好な居住環境の維持を図る。
概要 (取組内容)	定期的な住宅及び付帯施設の保守点検管理業務、環境維持管理業務、生活支障箇所の修繕及び入居時における住宅修繕

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	99,635	99,053	99,053	
	決算額	(千円)	92,301	98,198	98,715	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	16,669	0	0	0	0
		その他	(千円)	75,632	98,198	98,715	0	0
人件費	人件費計	(千円)	7,200	6,821	6,366	6,427	6,427	
	内訳	正職員従事割合	(人)	1.00	1.00	0.90	0.90	0.90
		正職員時間外勤務	(時間)	57.60	15.40	100.00	125.00	125.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市営住宅長寿命化計画へ、定期点検及び修繕の状況から判断した改修計画を反映させることができた。定期的な点検結果を元に、市営住宅の共用通路や階段等の修繕を実施し、居住者へ安全な環境を提供することができた。	
成果	維持管理委託 28件 住宅修繕 235件・住宅修繕工事 22件（公共施設整備課依頼25件を含む） 残置物処理委託 5件 定期点検（吾妻住宅、台町団地、大砂住宅）	
課題	業務	老朽化に伴い、給水施設及び排水施設からの漏水が増加している。露出部分での漏水の場合原因が判明しやすいが、隠ぺい部で原因が不明なものもあり、全体的な配管の交換等の検討が必要である。
	組織、予算等	団地内の共有部分の除草について入居者の自治会で実施している政策空き家団地があるが、入居者の減少により実施が難しいとの相談があり、今後市で除草を実施するための予算を確保する必要がある。
改善目標	共用設備について修繕の実施状況を整理し、大規模改修の要否の検討を行う。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	607 市営住宅入退去管理事務					
予算科目	01-080501-11			担当部課	建設部住宅政策課	
市長公約				係名	住宅係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	一部委託	
個別計画	特になし			事業期間	毎年度	
根拠法令等	公営住宅法、つくば市市営住宅条例			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市営住宅入居希望者、市営住宅入居者及び退去者					
目的	住宅に困窮する者に対して低廉な家賃で市営住宅を提供し、収入に応じた家賃の徴収を行い市の財源を確保する。					
概要 (取組内容)	入居募集に伴う事務 入居者からの申請に基づく同居等の承認事務 退去に伴う事務 法及び条例に基づく家賃の決定及び徴収事務並びに家賃滞納者への徴収事務					

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	16,003	16,645	16,645	
	決算額	(千円)	12,249	12,455	15,919	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	0	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	0	0	0
		その他	(千円)	12,249	12,455	15,919	0	0
人件費	人件費計	(千円)	4,321	4,093	6,945	6,948	6,948	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.60	0.60	1.00	1.00	1.00
		正職員時間外勤務	(時間)	34.60	9.20	59.00	60.00	60.00
		会計年度任用職員有無	(-)	無	無	有	有	有

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	市営住宅の新規入居数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	22.0	16.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	住宅困窮者に対し住宅を提供したことの指標として新規入居数を設定する。						

2	指標名	市営住宅の退去数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	54.0	38.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	退去住宅の残置物処理について、要項の策定について検討し、一部の住宅で残置物の処理を実施した。市営住宅入居時の連帯保証人の確保が難しい入居希望者に対し、保証委託契約による法人保証を可能とするため、債務保証会社との協定を締結した。	
成果	新規入居数16戸、退去数38戸。 収入が減少した入居者からの相談に対し家賃減免や住居確保給付金の案内等を実施した。 市営住宅条例及び施行規則を改正した。 債務保証会社1社との協定を締結し、入居希望者に対し法人保証の案内を行った。	
課題	業務	単身での入居希望者が多いが、単身入居可能な住戸数が少ないため、現在の基準を変更し単身入居が可能な住戸数を増やすことの検討が必要である。 入居者が選択できるよう、協定を締結した債務保証会社を増やす必要がある。
	組織、予算等	業務の一部を、茨城県住宅管理センターに委託している。
改善目標	令和2年度に検討を実施した残置物処理について、事務処理要項を策定する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	613 市営住宅長寿命化計画実施事務					
予算科目	01-080502-11			担当部課	建設部住宅政策課	
市長公約				係名	住宅係	
戦略プラン				新規・継続	継続	
				事業分類	自治事務（義務）	
				事業体制	職員のみ	
個別計画	茨城県住生活基本計画、つくば市市営住宅長寿命化計画			事業期間	毎年度	
根拠法令等	住生活基本法、公営住宅法、つくば市市営住宅条例			SDGs	11住み続けられるまちづくりを	

事業の概要

対象	市民
目的	長寿命化計画に定められた計画を実施し、市営住宅の維持管理や統廃合等の更新コストの縮減を図るとともに、住宅ストックである、市営住宅の住生活の質の向上を図る。
概要 (取組内容)	社会資本整備総合交付金（社総交）を活用し、長寿命化計画に位置付けられた市営住宅改修設計及び工事 社総交の要望及び交付金受領に係る申請事務 市営住宅の用途廃止に伴う事務

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	161,007	385,573	385,573	
	決算額	(千円)	0	144,827	160,125	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	29,702	20,361	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	115,125	139,764	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	8,209	2,772	5,563	5,563	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	1.20	0.40	0.80	0.80
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	27.80	21.00	50.00	50.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	特になし
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	改修等の実施件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	5.0	7.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	個別施策の指標である『施設類型別の「個別施策計画」の策定及び着実な取組』のため、事務事業の指標として、改修等の実施件数を設定する。					

2	指標名	()					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	改修工事等の進捗状況を反映させた第2次つくば市市営住宅長寿命化計画を策定した。 老朽化より雨漏り等の発生した住宅について、改修工事を実施した。	
成果	市営ひがし谷田川団地2号棟浴室改修工事、北条日向団地外壁改修工事（2～8号棟）、小田第二団地屋根・外壁改修工事、小沢団地解体工事（6号棟） 大砂住宅浴室改修設計、駒形団地屋根・外壁改修設計（3～5号棟）、小田第二団地屋根・外壁改修設計	
課題	業務	改修工事については、事前に調査の上実施しているが、居住者がいることにより居室内の調査は不十分となりやすい。
	組織、予算等	国庫補助金を活用した改修工事等については、補助金の交付率が低いことにより、事業が遅れることがある。
改善目標	引き続き国庫補助金を要望しながら、新たに策定した長寿命化計画に基づき改修工事等を実施する。	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	法令等により市の実施が定められている。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	609 空き家等の適正管理及び有効活用事業					
予算科目	01-030112-12			担当部課	建設部住宅政策課	
市長公約	87			係名	空き家対策係	
戦略プラン	I-2	5	1	「つくば市空家バンク制度」の推進	新規・継続	継続
	I-2	5	2	空き家活用に関する啓発と空き家跡地（空	事業分類	自治事務（義務）
個別計画	つくば市空家等対策計画				事業体制	職員のみ
	空家等対策の推進に関する特別措置法 つくば市空き家等適正管理条例				事業期間	毎年度
根拠法令等					SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	空家等の所有者等
目的	空家等の適正な管理と有効活用の促進を図る。
概要 (取組内容)	市民からの情報提供（相談）を受けて、現況調査を行い、管理不全な状態である空家と判断した場合には、所有者等を調査し、助言、指導、勧告を行う。さらに、その空家が著しく危険であると判断した場合には、措置命令、公表、行政代執行を行う。 空き家無料相談会や空家バンク制度などの空家の有効活用施策を実施する。 空家活用補助金制度（改修、家財処分）を実施し、空家バンク制度による空家の活用を推進する。

コストの推移

項目		平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円) 0	0	5,984	9,127	9,127	
	決算額	(千円) 892	615	1,710	0	0	
	内訳	一般財源	(千円) 892	615	1,235	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円) 0	0	475	0	0
		その他	(千円) 0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円) 21,717	21,076	19,693	19,047	21,087	
	内訳	正職員従事割合	(人) 3.00	3.00	2.70	2.70	3.00
		正職員時間外勤務	(時間) 220.00	295.00	543.00	280.00	280.00
		会計年度任用職員有無	(-) 無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ、広報つくば、チラシ等による情報発信
企画・立案、計画	特になし
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

指標名	管理不全な空家等の所有者等に対する行政指導件数 (件)					活動結果指標
	R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
1	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	141.0	105.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	市民から情報提供（相談）があった管理不全な空家等について、所有者等を調査、特定し、管理不全な状態を改善するよう行政指導を行った件数					

2	指標名	空家バンク制度による売買又は賃貸借の成約件数 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	5.0	5.0	5.0	5.0	5.0
	実績	3.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要	空家バンクに登録された空家等の売買又は賃貸借の契約が成立した件数 (個別施策 I-2-⑤空き家・空き店舗等の有効活用の推進)					
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	改善の見られない空家等について、所有者等を訪問し、助言、指導を行った。 空家バンクについては、空家情報誌の配布、広報つくばへの掲載、区会回覧、市ホームページ等掲載に加え、令和2年度から固定資産税納税通知にチラシを同封し周知を図った。
成果	管理不全な空家等への行政指導等を遅滞なく実施するとともに、特定空家等1棟の解体を行い、地域の生活環境の悪化を防止した。 新たに空家バンクのチラシを固定資産税納税通知に同封し、周知に努め、応募を募った。 空家等無料相談会を2回開催し、所有者の多岐にわたる相談に対応した。
課題	<p>業務</p> <p>助言、指導しても改善されない空家等へ対応。 空家バンク制度の登録物件が少なく、利用希望者のニーズに答えられていない。</p> <p>組織、予算等</p> <p>課内人員の削減による業務の兼務が発生し、きめ細かな対応策を講じることが難しくなっている。また、国庫補助を活用するにあたっては制度上の制限があり、柔軟な空家対策の実施は難しい場合がある。</p>
改善目標	行政指導等に従わない所有者等に対しては、継続的に指導するとともに、著しく管理不全な空家等については、特定空家等庁内調査委員会での審議を経て、必要な措置を講じていく。また、空家無料相談会、空家バンクの登録促進、空家活用・地域交流拠点づくり支援補助金により、空家等の有効活用を促進する。

評価

市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
進捗状況	3	やや遅れたが、今年度の事業計画は達成された。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	5	戦略プラン等に掲げられた市の重点事業であり、優先的に取り組む必要性が高い。

方向性

方向性	継続
理由	-

令和 2年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報

事務事業名	608 市営住宅長寿命化計画策定事業					
予算科目	01-080502-11			担当部課	建設部住宅政策課	
市長公約				係名	住宅係	
戦略プラン	II-4	1	2	施設類型別の「個別施設計画」の策定及び	新規・継続	新規
					事業分類	自治事務（義務）
					事業体制	一部委託
個別計画	茨城県住生活基本計画、つくば市市営住宅長寿命化計画				事業期間	毎年度
根拠法令等	住生活基本法、公営住宅法、つくば市市営住宅条例				SDGs	11住み続けられるまちづくりを

事業の概要

対象	市民
目的	市営住宅ストックの効率的かつ効果的な維持更新及び良好な住環境を確保するため、新たな長寿命化計画を策定する。
概要 (取組内容)	更新コストの縮減となる既存市営住宅の建替えや用途廃止、ライフサイクルコストの縮減となる計画的な修繕、住環境の向上を図る改善工事等の計画で構成される中長期的な維持管理計画である「つくば市市営住宅長寿命化計画」を定める。実施にあたり、平成28年度に改定された「公営住宅等長寿命化計画策定指針」に準じて行う。

コストの推移

項目			平成30年度	令和元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	
事業費	予算額	(千円)	0	0	7,145	0	0	
	決算額	(千円)	0	0	7,106	0	0	
	内訳	一般財源	(千円)	0	0	3,909	0	0
		国庫、県支出金、地方債	(千円)	0	0	3,197	0	0
		その他	(千円)	0	0	0	0	0
人件費	人件費計	(千円)	0	0	2,762	0	0	
	内訳	正職員従事割合	(人)	0.00	0.00	0.40	0.00	0.00
		正職員時間外勤務	(時間)	0.00	0.00	17.00	0.00	0.00
		会計年度任用職員有無	(一)	無	無	無	無	無

市民参加の取組状況

共有、理解	ホームページ及び広報紙による情報発信
企画・立案、計画	パブリックコメント
実行	特になし
評価、検証	特になし

指標の推移

1	指標名	長寿命化計画の策定 (件)					活動結果指標
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要	(個別施策II-4-①公共施設・インフラの効果的な維持管理の推進)						

2	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
3	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
4	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						
5	指標名	()					
		R01年度	R02年度	R03年度	R04年度	R05年度	R06年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要						

事業の成果と課題

前年度の課題への対応	市営住宅の法定点検、修繕工事により必要と考えられる予防保全的な改修や、国庫補助金の交付が得られず進捗が遅れていた改修工事等を新たな計画策定に反映させることができた。	
成果	第2次つくば市市営住宅長寿命化計画を策定した。 策定の経緯：12月庁内意見照会、1月6日～2月8日 パブリックコメントの実施、3月6日パブリックコメントの実施結果の公表	
課題	業務	特になし
	組織、予算等	特になし
改善目標	特になし	

評価

市民ニーズ	4	十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
進捗状況	4	年度当初の計画通りに事業を実施することができた。
市の関与	-	法令等により市の実施が定められている。
優先度	-	今年度で事業が終了する。

方向性

方向性	終了
理由	第2次つくば市市営住宅長寿命化計画の見直しについては、5年後である2025年度を予定しているため。